

大國魂神社氏子青年崇敬会 会報誌

令和6年10月1日 第3号



会長挨拶

大室 元

会員の皆様、氏子崇敬者の皆様におかれましては、日頃より当会の活動にご理解ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も収束へ向かう中、令和五年度は当会創立二十周年という節目の年を迎えました。これまで支えてくださった皆様に改めて感謝申し上げます。

記念事業として宮崎県の神社を巡る研修旅行を催行しました。日頃とは違う土地、神社に触れることで、神道の奥深さや地域性、他の神社に対して興味を持ち、神話や国の成り立ちに興味を持つて頂きたいと考え企画したものです。

また、三月二十四日には創立二十周年記念式典を開催致しましたところ、多くのご来賓の皆様や当会発起人を始めとする先輩諸兄、そして会員の皆様方に多数お集まりいただきました。

二十周年という年月を人間の歳で考えますと、ようやく社会へ巣立っていく、という年頃です。常若（とこわか）という日本の精神性を表す言葉がありますが、当会は常に生命力あふれる、若々しい青年が集い、奉仕を通じて世の中を良くしていこう、という意欲に溢れる会であり続けたいと考えます。

「失敗を恐れず、挑戦する若々しい会」としてさらなる飛躍に向けて活動して参る所存です。引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

軍艦多摩戦没者慰霊祭

令和五年十月二十五日、慰霊碑前にて斎行された軍艦多摩戦没者慰霊祭に参列しました。

軍艦多摩は大正十年に軽巡洋艦として竣工され、艦内神社には大國魂大神が祀られていました。各地で活躍しましたが昭和十九年十月二十五日のフィリピン沖海戦で沈没しました。

沈没して七十年となる平成二十六年に、当会を中心として軍艦多摩顕彰会が組織され、慰霊碑を建立いたしました。以降毎年慰霊祭が斎行されています。

これからも御霊の声なき声に耳を傾け、慰霊顕彰を続けていきます。

新穀献米

令和五年十二月九日に全国氏子青年協議会のもと行われる神宮新穀献米奉納事業に当会からも新穀奉納させていただきました。

本年は府中市立府中第八小学校内にあります学校田で収穫された新穀を奉納致しました。子ども達にも神宮へ奉納することの意義をお話させていただきました。

これからも様々な事業を通じて

伝統文化の継承に務めてまいりたいと思います。

甘酒

甘酒事業は年末年始（十二月三十一日～一月二日）に執り行われる事業で通年事業の中でも重要な事業となっております。また、地域の様々な方々から酒粕や調理器材、備品等ご支援ご協力を頂いております。

境内随神門横にテントを張り各地区全員で交代しながら朝八時から十七時程まで甘酒販売をしております。その横では振舞い酒を行っております。こちらのお酒は東京都酒造組合から神社に寄付を頂いたお酒で主に東京都の地酒を振舞います。

また、震災、災害などで被災した神社へ支援をする為に募金活動も行っております。

今年度、皆様からお預かりした募金は能登半島地震によって被災された能登国総社に寄付を



させて頂きました。改めまして、皆様のご協力、温かいお気持ちに心から感謝を申し上げます。

二十周年記念旅行

大國魂神社氏子青年崇敬会の創立二十周年の節目として、二月十日、十一日に高千穂と宮崎県の神社を巡る記念旅行に行ってきました。

一日目に数多くの神話が残り天孫降臨の地である「高千穂神社」、天照大御神様がお隠れになられた天ノ岩戸がある「天岩戸神社」に伺いこちらで正式参拝を致しました。続いて、古くは天照皇太神宮と言われていた「大御神社」に伺いました。

二日目は、初代天皇である神武天皇をお祀りする「宮崎神社」にて参拝し、みそぎ発祥の地・祝詞発祥の地と言われる古社、「江田神社」に伺いました。道中、青島にてこの地特有の地形がみられ、国の天然記念物である「鬼の洗濯板」を見学し、さらに南下。日向灘に面した中腹、岩窟内に本殿が鎮座する「鶴戸神宮」を参拝。青島に戻り、神社周囲一、五キロの青島全島が境内である「青島神社」



を参拝しました。

当会役員を中心に会員の方、先輩方にもご参加頂きました。普段の旅行では行えない経験をさせて頂き、氏青創立二十周年を記念する特別な旅行になったのではないかと思います。当記念旅行に携わって頂いた皆様、改めましてありがとうございます。

茅の輪奉納

茅の輪部会では、例年六月中旬頃に茅の輪を制作し中雀門前に奉納しています。茅の輪とは、千茅を束ねて輪にし竹の支柱で頑丈に固定して立たせたものです。その中を、八の字を描くようにくぐる茅の輪くぐりは、年始めから半年の罪穢れを祓い、夏以降の半年を新たな気持ちで迎えるための神事です。

制作に必要な材料の千茅と竹は、当会の活動にご理解頂いた方などのご協力で採取させて頂いております。制作には当会の会員やゆかりのある企業様にご協力頂いております。この活動が始動した当会

発足間もない頃から、このような方々の支えにより現在に至るまで毎年制作を続けてこられました。技術の継承や企画は簡単ではないですが、参加者全員で協力して前年より立派な茅の輪を作ろうと制

作に励んでいます。六月三十日に行われました大祓式には雨にも関わらず多くの一般の方の参列がありました。茅の輪制作を、今後も何十年、何百年と継続し、大國魂神社を訪れる方々

創立二十周年記念事業について

実行委員長 秋元 秀一

神社に参拝するとき、手を合わせて感謝の気持ちでイメージする。崇敬する側の我々は、参拝の時にお願い事や見返りを期待することはないのが当たり前の感覚として培われているのだと、境内清掃のゴミ拾いをしながら思ったことがある。二十周年事業にあたり、大國魂神社を崇敬する同志として会員各位に多岐にわたる尽力を頂きながら、交流と研鑽を深める機会を設けることができたのではないかと思います。改めて感謝の念に堪えない。

役員というのは、神社を崇敬する機会（奉仕）の提供をするものだと考えている。提供する以上はできるだけたくさんの方と一緒に、時間と能力とやる気、時にはお金まで費やす。そうやって先輩

方が踏み固めてきた道が今ここにあると感じている。この先の道は末広がりには伸びていく広い道なのか、細くともしつかり固めてある一本筋の通った道なのか。私は奉賛会の皆さんと同じように神様に近いところで奉仕ができる道を作っていかたいと思う。

二十周年事業についての寄稿の原稿が、大分脱線してしまった。次の三十周年を見据えて私が二十周年事業で学ばせていただいたことを残しておきたい。①過去の道をただただおきたい。②過去の道でも理解しよりよいものを残すために顧問をはじめ歴代役員の方々のコミュニケーションを密にすること ③並行して現役世代が何をしたいのかを準備すること ④信じて任せるが前提で、役割分担を明確にする、ただしスケジュール管理に注意を払うこと ⑤事業予算以外で収入を得なくてはならない可能性があるので、会

員還元がどこまでできるかを考え予算配分をすること ⑤常に感謝を忘れず頭をさげること 思いついたことが以上になる。役員が頑張るのは当たり前だが、より多くの関係者や業者との打合せや調整が必要になる。大抵は自分の仕事をしながら、合間を見てそれぞれの責務を果たすことなので、日頃の氏青活動の中でチームワークを強めて周年事業に尽力してもらえたらと考える。

最後に一連の二十周年事業におきまして、我々の気が付かぬところでも、不手際によりご不快な思いをさせてしまったこともあったかもしれません。諸先輩方、会員をはじめ、関係各位の皆様におかれましては懐の深く、寛容な心でお支え下さり誠にありがとうございます。今後ともよりよい会の運営の為に協力をお願いいたします。どうぞ宜しくお願いを致します。

に喜んで頂けるよう会員相互協力しながら活動を続けて行きたいと思っております。



萬燈

当会にて作成いたしました萬燈が萬燈大会で準優勝の結果をいただきました。萬燈大会は大國魂神社例大祭期間中（四月三十日から五月六日）に大鳥居前で執り行われます。萬燈は柱、盛花、上バレン、行灯、岩、下バレン、顔隠し、手隠しと八つの部材を組み立て作成され重さは四〇キロから五〇キロになります。

大会では各青年会が出来栄えと振り方を競います。今年大会で作成した萬燈は当神社の手水舎にある龍をモデルに作成いたしました。今年の干支は甲辰（きのえたつ）

で物事の始まり、成長を意味して
おります。

本年は当会発足二十周年の節目
の年を迎え、これから二十一年目
に向かい新たな気持ちで成長して
ゆくことを祈り会員一同心を込め
て作成いたしました。

すもも祭

今年も『すもも祭』が七月二十
日に斎行されました。

起源は九〇〇年以上も遡り源頼
義・義家父子が、奥州安倍氏平定
(前九年の役)途中、大國魂神社
に戦勝祈願をし、戦に勝ち凱旋の
帰途、戦勝御礼詣りの際にその際
神饌の一つとして李子(すもも)
を供え、境内にすもも市がたつよ
うになったのが由来となっております。



当日は「からす団扇」「からす
扇子」を受ける人達で賑わい、手
作りシロップと甘酸っぱいすもも
が乗ったかき氷を多くの方に味
わって頂き大國魂神社夏の風物詩
を楽しんで頂きました。

忠魂碑清掃



忠魂碑清掃奉仕活動では、毎年
九月二十四日に府中市戦没者慰霊
祭が斎行されるにあたり、前日の
二十三日に掃き掃除と水洗いを
行っています。忠魂碑には大東亜
戦争での郷土出征戦没兵士の忠魂
が祀られています。

忠魂碑の高さは六、五二メート
ルあるので高所作業車や高圧洗浄

機を使用して作業をしていきます。
今回も皆様のご協力により綺麗に
清掃する事ができました。今後も
慰霊の思いを込めて継続していき
たい事業です。

令和六年度活動予定

- 十月 総会
軍艦多摩戦没者
慰霊祭参列
- 十一月 新嘗祭参列
- 十二月 神宮新穀献米奉納参加
PR活動(甘酒奉仕)
一月二日まで
新年正式参拝
- 一月 節分祭参列・警護奉仕
- 二月 祈年祭参列
- 五月 萬燈大会参加
例大祭参列
- 六月 茅の輪奉納
大祓式参列
- 七月 PR活動
(すもも祭奉仕)
- 八月 八朔相撲祭参加・助成
- 九月 忠魂碑清掃
府中市戦没者慰霊祭参列
- 毎月一日・一五日 月次祭参列
- 奇数月最終日曜日 境内清掃
- 随時 役員会・理事会

入会のご案内

昔より、武蔵の国の平穏と繁栄
をつかさどる、大國魂大神をおま
つりする大國魂神社を中心として、
青年の力を結集し、神社の伝統あ
る行事を守り後世に伝える活動、
地域の発展・福祉の活動、会員相
互の親睦をはかる活動など社会に
貢献するために活動しております。
多くの青年の方に、伝統文化の継
承をしていただきたく呼びかけを
しています。

- ・年会費
一般会員(一名) 二、〇〇〇円
夫婦会員(二名) 三、〇〇〇円
- ・年齢 十八歳以上

※入会をご希望の方は社務所まで
お越しいただくか電話にてご連
絡下さいますようお願いいたし
ます。
電話：〇四二―三六二―二二三〇
(大國魂神社社務所)